

認可保育園

ふやして

安心できる保育園に



「保育園落ちた」——切実な声があがっています。

認可保育園に入れなかった子どもたちは

全国で8万3375人(厚生労働省発表 2015年4月時点)。

なぜ、こんなことに?

この10年で約2500カ所もの公立保育所が消滅。

“保育難民”をつくりだしたのは政治の責任です。

「安心して子育てできる社会に」

このあたりまえの願いがかなう政治にチェンジしましょう。

2004年
12,013

公営保育所数の推移

2014年
9,312

厚生労働省「社会福祉施設等調査」の経営主体別保育所数のデータによる。
毎年10月1日現在の保育所数

共産党の 保育緊急提言

1 30万人分(約3000カ所)の認可保育所を緊急に増設する

「質の低下は仕方がない」とつめこみ対策に走る安倍政権。とんでもありません。子どもたちを安心して預けられる認可保育園を、まず緊急につくる。これがいま必要なことです。1970年代には10年で8000カ所も増設。政治がその気になれば実現できます。

- 保育園の土地確保へ、国庫助成制度をつくる。
- 公立保育所への国の財政支援制度をつくる。
- 地域の保育ニーズを正確につかんだ対策に。

2 保育士の賃上げと はたらく環境の改善を

保育士不足を解消するためにも待遇改善が急がれます。全産業より平均約10万円(月)も低い賃金は、国の基準があまりに低すぎるからです。“1~2歳児6人をたった1人で担当”など、国の配置基準を早急に見直します。

- 賃上げ5万円を緊急に、続けて10万円にアップ。
- 週休2日、有休が確保できる配置基準へ。

詳しくは
WEBで



ママ・パパ、保育士のみなさんと力あわせて実現します

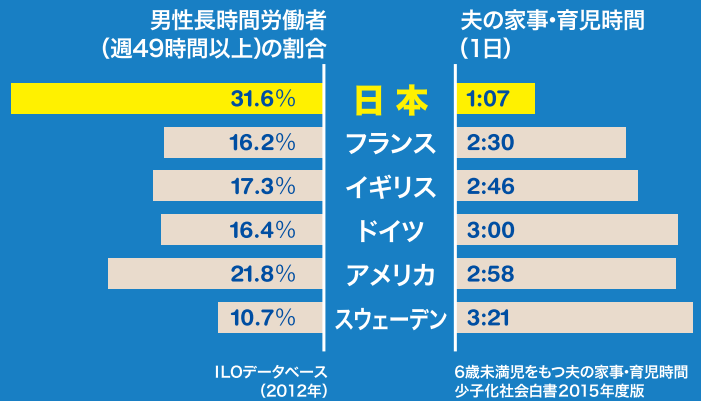
日本共産党

子どもが 起きてる間に 帰りたい



ストップ長時間労働

「帰宅はいつも子どもが寝てから」
「せめてお風呂に入れる時間には帰ってきてほしい」
—日本のパパ・ママたちは、
世界に比べて働く時間があまりに長すぎます。
異常な長時間労働にメスをいれ、
仕事も子育ても大事にできる社会をつくる。
これが日本共産党の提案です。



ブラック規制

共産党の
はたらき方改革

- “働きすぎチェック”、労働時間を正確に記録し、本人や家族に公開する。
- 残業時間の上限を“年360時間”に規制する。
- 次の勤務が始まるまで、連続11時間の“休息时间”を保障する。
- 「サービス残業」が発覚したら、会社に残業代を2倍支払わせる“倍返し”に。



詳しくは
WEBで

仕事も子育ても

ヨーロッパでは



待機児ゼロ、
夫婦で子育て

ノルウェー

国の責任ですべての子どもが保育園に入れ、待機児童ゼロのノルウェー。普通、勤務時間は午前8時～午後4時で残業は基本的にない。男女の労働条件も平等で、閉園する午後4時45分までに、夫も妻も余裕を持って子どもを迎えにいける。



管理職も
家族との時間を大切に

フランス

週35時間労働、残業を入れても週48時間までと法律で規制。安心して子育てでき、24～49歳の女性の就業率は80%をこえる。35時間制の対象外である管理職も、有給休暇や年6～7週間のバカンスがとれ、家族と長い時間を一緒にすごせる。

Legal
Infomation

「産休切り」
「育休切り」は法律違反

産休中（産前6週間、産後8週間）と産休明け後30日間の解雇は労基法19条違反。育児休業の取得を理由とした解雇も育児・介護休業法で禁止されている。

妊娠中の残業、
休日出勤は禁止

妊婦と産後1年を経過しない女性から請求があれば、時間外・休日・深夜労働を行わせることはできない（労基法66条）。

労働相談ホットライン

妊娠や出産、産休・育休にかかわる解雇や差別など仕事のことでお困りの方は、0120-378-060（全労連・労働相談センター）までご相談を。

お悩みは
こちらに